

営農情報

夏秋トマトの栽培

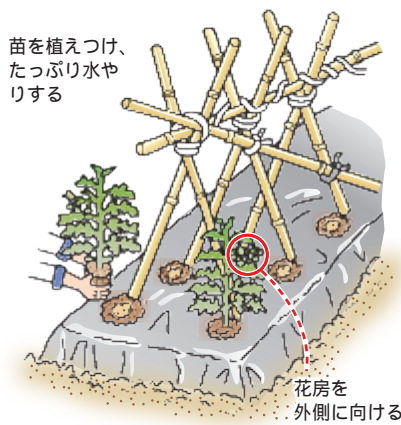


南米アンデス三麓が原産で、ナス科作物の中では比較的冷涼な気候で降雨の少ない気候を好みます。ビタミンCやカリウム、食物繊維などが豊富で、赤色種はリコピン、黄色種はカロテンという色素をもち、「トマトが赤くなると医者が青くなる」と言われるように、とても健康効果に優れた野菜です。

月	3	4	5	6	7	8	9	10
作型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
トンネル栽培	○○		—————					
露地栽培	○○		—————					

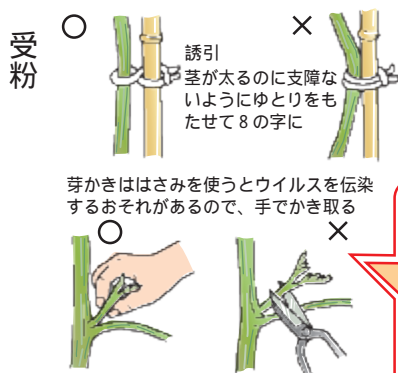
○ 植え付け □ トンネル被覆 — 収穫

定植
条間60cm株間50cm程度で植穴をあけ、第1花房の花が咲き始めたくらいに植え付けます。植え付けの際は、しっかりと鎮圧することで根鉢と植穴との隙間



畑の準備
植え付けの2週間前までに1㎡あたり苦土石灰150g、完熟堆肥2kg、化成肥料100gを施してよく耕します。その後、畝を立てて、雨でしっかりと土を湿らしてから、できる限り早めに黒マルチをかけて地温を高めておきます。排水の悪い圃場では高めの畝をたてるように心がけましょう。また、定植前に、図のように支柱を立てておきます。斜めに筋交いを入れます。より頑丈な支柱になります。

受粉
トマトの実つきをよくするためには、確実に1番目の果実を着果させることが重要になります。そのために、図のように支柱を叩き振動で花粉を落としたり、ホルモン処理による人工受粉を行います。



成功のポイント
芽かき わき芽は各節とも早めに取り除き、主枝を1本だけ伸ばす。芽かきが遅れると肝心の主枝の生長が悪くなる。

をなくし、たっぷり水をやりましょう。また、花房を外側に向けて定植することで、今後の作業が楽になります。
栽培管理
トマトはわき芽をすべて摘み取る1本仕立てにするのが基本です。株の成長に合わせてひもで支柱に縛り誘引し、わき芽は大きくなる前にかきとりましょう。



